

2022年度 紙面による総会報告

ポーランド留学生支援団体会員の皆様へ

2022年4月7日

役員代表 岸本 啓子

「一人の小さな手 何もできないけれど

それでも みんなの手と手をあわせれば 何かできる 何かできる」

四月になり、自然界は息づいて鳥囀り、木々は若葉、草花は競い合って咲き出し新学期が始まりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

日頃は日ポ・サロンに温かいご支援を賜りお礼申し上げます。コロナ禍でこの二年間総会を開くことができず2022年度は紙面総会となり皆様にはfax'送信での返答でお手数をおかけしました。又振込用紙に何の説明もなく年会費と寄付金の印字を見て当惑されたかもしれません。2021年度は収入源のポーランド旅行やコンサートもなく会計が案じられ寄付をお願いした次第です。不行き届きをお詫び申し上げます。紙面総会の議事案にご賛同いただき、代表を高島和子から引継ぎ岸本啓子が務めることになりました。ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。私は日ポ・サロン創設時から入会し、活動行事時に会員皆様、留学生にお出合いしての交流は何よりの喜びでした。「一人の小さい手」の歌詞にあるように思いを同じくして少しでもよいことが広がるように皆様と活動させて頂けることは有り難く感謝でございます。2020年度の招聘留学生のクラウディアさんはコロナ禍で来日できず残念に思っていました。日本政府の外国人入国枠が広げられて四月から神戸大学国際文化学部での留学が認められポートアイランドの寮に入居されたと留学生担当の辛島先生から連絡ありました。今年度の招聘留学生についてはワルシャワ大学日本学科長に推薦依頼したく思っていますが、コロナ感染が見通しつかずの現状では決定出来ず学科長のコズィラ先生からも慌てずに取り組みましようと言って頂いています。コロナ禍、不順な折で皆様にはご自愛下さいますように。一日も早いウクライナ停戦を祈りつつ。平和平安を祈りつつ。

会員の皆様

前代表 高島 和子

桜が満開となり浮き立つ気持ちにはウクライナ避難民とその対応に追われているポーランドの人々の日々は想像を超えた大変さで世界は全く予断を許さない状況となりました。この度日ポ・サロン代表を岸本啓子と交代する事と致しました。創設以来22年近くそれぞれの留学生との思い出の一つ一つに浸りながら様々な事が走馬灯のように去来しています。留学生を支援する事は、まさにこの世に縁ありてこそその遠来の若者との出会いで、次世代に手を差し伸べる事の喜びとなり、彼らの研究を通して日本を再認識し、真摯な学びの姿勢に得ることの多い日々でもありました。世界の平和とコロナ禍の皆様の健康ご多幸をお祈りしつつ、今後共ご支援賜りますようお願い申し上げます。有難うございました。心からの感謝を込めて。